

第7回となる今回は、「自分たちの子ども世代に創り伝えたい社会」を共通テーマとしてコンテストを開催し、大学生・留学生・高校生の皆さんから、過去最多となる1,363本の論文をお寄せいただきました。3つの部門のそれぞれについても、過去最多の応募論文数となりました。

事務局による予備審査、NRIグループ社員による一次審査を経て、11月28日に特別審査委員の池上彰氏(ジャーナリスト・東京工業大学教授)、最相葉月氏(ノンフィクションライター)を迎えた審査委員9名による最終審査会にて、以下のとおり入賞者を決定しました。なお、「大賞」「優秀賞」「特別審査委員賞」入賞者の表彰式は、12月22日(土)に開催する予定です。

日本から未来を提案しよう！

	大学生	留学生	高校生
応募論文数	231	49	1,083
	総数:1,363		

入賞者一覧

「大賞」「優秀賞」「特別審査委員賞」の論文は2013年2月に掲載する予定です。

<大学生の部>

テーマ:「自分たちの子ども世代に創り伝えたい社会～あるべき社会の姿と私たちの挑戦」

大賞	山本 泰弘さん(京都大学大学院地球環境学舎 修士課程2年) 政経社会系教育重点校「スーパーソーシャルハイスクール」
優秀賞	木下 翔太郎さん(千葉大学医学部 5年) 将来の日本の為に—我々の世代が為すべき医療改革— 藤平 達之さん(一橋大学社会学部 4年) 新しいエコの形、C to C シェアリングの実現—「使わない」から「使いたい時だけ」への転換—
特別審査委員賞	林 ひろみさん(群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部 3年) 農業・地域・女性が拓く日本の未来～つながりから生まれる新しい直売所のかたち～
佳作	足立 達彦さん(明治大学政治経済学部 3年) 長谷川 哲士さん(明治大学政治経済学部 3年)(共著) 多様な価値観に対応する新たな働き方の提案～日本型雇用システムからの転換～ 飯田 貴也さん(早稲田大学先進理工学部 4年) 『科学技術共生成型社会』の提案—東日本大震災を経て、科学技術といかに付き合うか— 池田 貴春さん(慶應義塾大学総合政策学部 4年) 人類社会の発展に貢献し続ける国「日本」—戦略的思考を持つ国づくり人づくり— 池松 俊哉さん(筑波大学大学院生命環境科学研究科 修士課程2年) 日本の里山保全モデルを世界に発信～広がれ！里山再生の輪～ 乾 瑞紗さん(神戸薬科大学薬学部 5年) 世界に誇れる日本の教育を目指して～個性を伸ばす多様な教育システムの構築～ 大泉 友奈さん(山形大学人文学部 1年) 縦のつながりが強い社会をつくる 川崎 裕紀さん(名古屋大学経済学部 1年) GNP から GWP へ～「東アジアで超国家的枠組みの形成を目指そう！アジアの平和で安定的な共存を見据えて」 楠木 秀憲さん(京都大学経済学部 4年) 教育が変わる人間性と日本社会 戀川 光央さん(東京理科大学大学院イノベーション研究科 修士課程2年) 持続性社会へ導く地図 - 三つの縁と三つの力

竹川 友祐さん(三重大学人文学部 3年)
食の安全とトレーサビリティシステム
田中 志歩さん(東京工芸大学芸術学部 4年)
情報社会を生き抜く子どもたちへ
吉田 圭介さん(信州大学繊維学部 4年)
川口 拓郎さん(信州大学繊維学部 4年)(共著)
「自然との共生社会」～自然を守り、生活を守る～

県立女子大の林さんが上位入賞

更新日時: 2012年12月20日(木) PM 03:00

「日本から未来を提案しよう」をテーマにした野村総合研究所(NRI)主催の第7回学生小論文コンテストで県立女子大国際コミュニケーション学部3年、林ひろみさん(21)＝みなかみ町＝の「農業・地域・女性が拓ひらく日本の未来」が大賞、優秀賞に次ぐ特別審査委員賞を受賞した。

林さんは利根商高卒。亡くなった祖父が稲作農家だったことから、農業は身近な存在だった。昨年は自宅近くの農家でアルバイトを体験。受賞論文はそれらを基に、今までの農産物直売所の機能に子育て支援の視点を加えた。具体的には直売所の運営、開発、販売、イベントなどに子育てをする母親が携わることで、直売所を農業や地域とのつながりの場とすることを提案している。

[1つ前へ戻る](#) [上毛新聞ニュース HOME](#) へ



特別審査委員賞を受賞した林さん